



多彩な講師陣で
皆さまの学ぶ楽しさ、知る喜びを
ますます充実させてまいります。

理事長・学長 久保 千春（中村学園大学学長）
前 九州大学総長

九州市民大学の特徴

非営利性

九州市民大学は、営利を目的とせず、生涯学習の場として市民文化の向上と地域社会における豊かな文化の創造に寄与したいと願っています。

中立性

九州市民大学は、特定の政治・宗教活動を一切行いません。また、講師陣も一方に偏ることがないように細心の注意を払っています。

市民中心主義

九州市民大学の受講生は、市民個人が自己負担で自主的に入学し、性別、年齢、学歴にとらわれずに楽しく学びながら一般教養・知識を高めることを目的としています。

自主運営

九州市民大学を運営するための財源は、受講生からの受講料収入によっており、行政や特定の業界・企業などには依存していません。また、各種事業は役員・運営委員の自発的・自主的参画によるボランティアによって運営されています。



● 年10回以上出席の方で、ご希望の方には九州市民大学の修了証書をお渡しします。本年度講演会の記録として、講師の先生方からいただいた色紙を刷り込んでいます。

九州市民大学
KYUSHU CITIZENS' COLLEGE
— 2027年 —

受講生募集

公式HPはこちら



知るは喜び 学ぶは楽し

浪曲師
玉川 太福
「和製ミュージカル!? 浪曲で初笑い!」
1/15 (金)

作家・クリエイター
いとうせいこう × 小説家
奥泉 光
「文芸漫談」スペシャル
夏目漱石
2/16 (火)

東京大学先端科学研究中心
准教授・動物言語学者
鈴木 俊貴
「僕には鳥の言葉がわかる」
3/16 (火)

ヴァイオリニスト
廣津留 すみれ
「ヴァイオリンが誘う世界旅行」
4/15 (木)

写真家
大石 芳野
「あすへの記憶」
5/15 (土)

作家・元外交官
佐藤 優
「激動する国際情勢と日本外交」
6/17 (木)

作家・元羊飼
河崎 秋子
「となりの自然とうまくやる」
7/8 (木)

建築家
藤本 壮介
「藤本壮介が語る世界の未来」
8/4 (水)

東京大学大学院総合文化研究科
准教授・歴史社会学者
鶴見 太郎
「世界史はユダヤ人をどう変えてきたか」
9/18 (土)

作家・詩人
池澤 夏樹
「詩の楽しさ -古代からたった今まで」
10/15 (金)

東京大学薬学部
教授・脳研究者
池谷 裕二
「脳とAIの未来 -生成AIは社会をどう変えるか」
11/16 (火)

バンドネオン奏者
タンゴ三姉妹+
「継続は力なり」
12/10 (金)

募集要項

募集人数／昼の部: 1,800人 夜の部: 1,800人 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)

会期／2027年1月～12月 毎月1回

時間／**昼の部** 午後2時30分～午後4時 **夜の部** 午後6時～午後7時30分

会場／アクロス福岡・福岡シンフォニーホール (福岡市中央区天神1丁目1-1)

年間受講料／**《昼の部》** 個人 1人 25,000円 夫婦・家族 1人 23,000円 (同居家族に限る)

《夜の部》 個人 1人 23,000円 夫婦・家族 1人 21,000円 (同居家族に限る)

ご注意／**昼の部** 受講生は、**夜の部** 講座にご自由に振替受講ができます。

夜の部 受講生は、**昼の部** 講座への振替受講は、座席に余裕がないためできません。

★「夜の部」の特典 「夜の部」は座席数に余裕がありますので、ご家族やお友達を同伴され、ゆっくりと、講演を楽しむことができます。

その1 「昼の部」より受講料が
2,000円安く、お得です。

その2 受講生には全員に招待券(夜の部のみ利用可)1枚を差し上げていますが、
「夜の部」受講生にはあと1枚追加し、招待券を合計2枚プレゼントいたします。

お申込み方法

ホームページでのお申込み
http://www.kyucc.com/boshu/

お電話でのお申込み
(平日10:00～15:00)
092-714-0066

FAXでのお申込み
092-714-6045

新入会員紹介の方へお礼をいたします

新入会員を紹介していただいた今年度の受講生には、
1名につき2,000円の謝礼を後日差し上げます。
(入会期限は2027年3月まで)
※家族割引との併用はありません。

〔後援〕福岡県・福岡市

お問い合わせ

一般社団法人

九州市民大学 事務局 TEL 092-714-0066

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1-1 アクロス福岡 西館10階

FAX 092-714-6045

九州市民大学

検索



この講師のココが面白い！

九州市民大学では毎年、講師選定に議論を尽くします。ここ一番の聴きどころをご紹介します。

※講師・講演日は講師の都合などにより、やむをえず変更になることがあります。

1/15
(金)浪曲師
玉川 太福和製ミュージカル!?
浪曲で初笑い!

過酷なエンタメ業界で奮闘する浪曲界のワンダーマンこと玉川太福は、近年その規格外の能力で寄席の世界を席巻している。第1回渋谷らくご創作大賞を受賞以来、落語や浪曲を横断した創作話芸にも取り組み、古典のほか新作浪曲にも積極的に取り組んでいる。曲師・玉川みね子の相三味線に乘せて唸る名調子はまさに和製ミュージカルそのもの。その笑いはほろ苦くもありちょっぴり懐かしさも呼び起こす。

2/16
(火)作家・クリエイター
いとうせいこう × 小説家
奥泉 光「文芸漫談」スペシャル・夏目漱石
昼の部「夢十夜」を走り抜ける
夜の部 夏目漱石の驚くべき十年

「文学を語ることが同時に笑いを呼ぶ」ことを目指し、作家・ラッパー・クリエイターなど一つの肩書におさまらない多才のいとう氏と、芥川賞をはじめ多くの文学賞を受賞している小説家の奥泉氏が2006年に始めた言葉のライブ空間。その対象は日本文学だけでなく世界文学にも広がる。今回のテーマは文豪夏目漱石。昼夜でお題を変えて即興の知の格闘技を提示する。

3/16
(火)東京大学先端科学研究センター
准教授・動物言語学者
鈴木 俊貴僕には
鳥の言葉がわかる

古代ギリシャ時代から現代まで言葉をもつのは人類だけだと考えられてきた。動物の鳴き声やしぐさは単なる感情のあらわれだと。本当なのか?この疑問を胸に野鳥の一種シジュウカラを対象に20年以上観察・研究をつづけている。2025年にはアジア人で初めての動物行動学の賞を受賞。鳥への愛がふれるエッセイ集は24万部を突破。ちなみにピーツビは「警戒しろ」、チヂチヂは「集まれ」なのだから。

4/15
(木)ヴァイオリニスト
廣津留 すみれヴァイオリンが誘う
世界旅行

高校在学中にニューヨーク・カーネギーホールでソロデビューを果たし、ハーバード大学卒業後、ジュリアード音楽院修士課程を修了。世界各地で演奏活動を重ねるとともに、教育、執筆、メディア出演など幅広く活躍している。国や文化を越えながら、ヴァイオリンを通してさまざまな世界の魅力を伝える活動を展開し、その演奏と語りから、音楽で世界を旅する楽しさを伝えてくれる。

5/15
(土)写真家
大石 芳野

あすへの記憶



ベトナム、カンボジア、アフガニスタン、チェルノブイリ、ウクライナ・戦争や内乱が残す不条理な傷跡に苦悩しつつも逞しく生きる人々を、半世紀にわたりカメラとペンで追いつけてきた。その原動力は、伝えたいという思い。「平和を守る起点は、戦争とはどういうものかを想像力を使い追体験すること」。戦争の実態を知り、平和の尊さを再認識したい。『ベトナム凜と』（講談社）で土門拳賞受賞。そのほか写真集、著書多数。

6/17
(木)作家・元外交官
佐藤 優激動する国際情勢と
日本外交

戦争の時代と言ってもよい。ウクライナをはじめ、地球のどこかで戦争は続いている。政府は、『核抑止力』を含む『抑止力』という観念を持ち出し、すぐに軍備増強に走る。これでは際限のない軍拡競争が続く。軍事力を持っても攻撃する意思がなければ、戦争は起きない。過去のキャリアから国内外の政治や社会問題に鋭い見解を示し続けている佐藤さんの言葉は、私たちに深い思索を促してくれる。

7/8
(木)作家・元羊飼いの
河崎 秋子

となりの自然とうまくやる

クマをはじめとした動物と人間、農業、感染症、介護と言った現代社会が直面する喫緊の課題の中での命の歪みを穿つ、唯一無二の作家。現在は十勝管内に居住し執筆に専念しているが、元羊飼いの、元酪農従業員という異色の経歴を持ち、都会派とは一線を画すリアルな生の哲学が光る。講演では「わたしとわたしの隣にある自然」に思いを馳せることから野生動物との関わり方について提案していく。

8/4
(水)建築家
藤本 壮介藤本壮介が語る世界の未来
~Between Nature and Architecture
(自然と建築のあいだ)

大阪・関西万博で、シンボルの「大屋根リング」を手がけたことで知られる。子供時代、北海道の自然に囲まれて育った藤本さんの一貫したテーマが「森のような建築」。森の中を人は自由に動き、どこが内でも外が曖昧になる感覚らしい。福岡には、総合デザイン監修した明治公園、太宰府天満宮仮殿がある。建築は普通、壁で囲い、床で仕切り、柱で支えているが、改めて「建築とは何か」「住むとは何か」を考えたい。

9/18
(土)東京大学大学院総合文化研究科
准教授・歴史社会学者
鶴見 太郎世界史はユダヤ人を
どう変えてきたか

ロシア・東欧史とユダヤ人史を専門とし、エルサレムやニューヨークでの研究経験も持つ。古代王国からディアスポラ、迫害、国家建設へと、三千年にわたり世界をさまよいながら生き延びてきたユダヤ人。その歴史を、「世界の巨大な変動がユダヤ人を翻弄し、その姿を変えさせてきた」という視点から、読み解く。現在のイスラエルを、世界史の力学の中で生まれた国として、問い直す。

10/15
(金)作家・詩人
池澤 夏樹詩の楽しさ
-古代からたった今まで

詩人は南太平洋の島々や文明の始原たるギリシャ世界を半生の棲み処とし、40歳を前にして小説を書き始めた。科学の知と詩的な表現が融合した文体はこの国に新たな地平をもたらし、爾来40年、時代の要請に応え環境問題や人類の未来などを主題に筆を執り続けた。古代より人は詩歌をもって豊穡や平安の祈りを神に捧げ、その思いが投影された池澤の仕事は、より良く生きたいと願う私たちの指標であり未来への説論そのものである。

11/16
(火)東京大学薬学部
教授・脳研究者
池谷 裕二脳とAIの未来
~生成AIは社会をどう変えるか

生成AIと脳がどのように協調して未来の社会を築くべきか。2年前、著書『生成AIと脳』（扶桑社新書）の副題で「この二つのコラボで人生が変わる」と提示。8年前から科学技術振興機構が推進する「脳AI融合プロジェクト」の代表を務め、AIと脳の関わりを研究。当大学へは2度目の登壇で、最先端の知見から、テクノロジーの未来と可能性をスリリングに解き明かす。

12/10
(金)バンドネオン奏者
タンゴ三姉妹+

継続は力なり

福岡市を拠点に活動するバンドネオン奏者・川波幸恵を中心に、ピアニスト・岡直美、バイオリニスト・松本さくらで2020年に結成。3人で完結するのではなく、共演者や来場者と音楽の喜びを何重にもプラスする。21年、サンバレスでの講演会で感動を呼んだあのステージから6年。地道に腕を磨き続けた年月の思いを胸に、魂を揺さぶる至高のアンサンブルで27年を締めくくる。



九州市民大学・その他の活動 月1回の講演会の他にも、野外での活動や特別講座など、様々なイベントを企画しております。

野外研修 自然とふれあい、文化を愉しむ。

受講生同士の親睦の場として、日帰りや宿泊の野外研修を企画しています。文化と自然に親しみながら、和気あいあいとした雰囲気のなかで交流が深まっています。

特別講座 より深く、より楽しく。知れば知るほど、もっと知りたくなる。

令和8年度より「集中講義」と「特別講座」を統合しました。定例の講演会とは異なり、地域の歴史・文化を主軸にテーマを設定し、九州市民大学の視点で探求していきます。